

高知の文化財保存・修復の現在
—絵金の芝居絵屏風を通して—

2025 7/12 Sat. ▶ 7/23 Wed.

会場

高知大学教育学部 3号館 1階 アートギャラリー

時間

午前10時～午後5時

観覧料

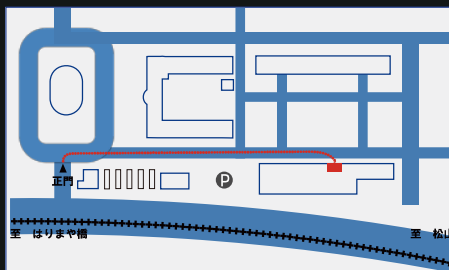
無料

※お車で越しの方は、駐車 30 分まで無料、最大料金は 1 日 500 円です。

主催

高知大学大学院

総合人間自然科学研究科 スポーツ・芸術文化共創専攻



アクセス

〒780-8520

高知市曙町二丁目 5 番 1 号

- 高知自動車道 伊野 IC から、自動車で東へ 5 分
- JR 朝倉駅下車、徒歩で東へ 5 分
- 土佐電鉄（路面電車）朝倉停留所下車すぐ



▲ 夏祭り当日の朝倉神社の様子。



▲ 絵馬台組み立ての様子。

高知の文化財保存・修復の現在 —絵金の芝居絵屏風を通して—

2025 7/12 Sat. ▶ 7/23 Wed.

会場 高知大学教育学部 3号館 1階 アートギャラリー

時間 午前10時～午後5時

観覧料 無料
※お車でお越しの方は、駐車 30 分まで無料、最大料金は 1 日 500 円です。

主催 高知大学大学院
総合人間自然科学研究科 スポーツ・芸術文化共創専攻

闇夜に浮かび上がる極彩色の世界。

赤や緑などの鮮やかな色彩と大胆な構図を特徴とする芝居絵屏風。極彩色で描かれた歌舞伎や浄瑠璃の芝居が宵闇の中、提灯のほのかな灯りで浮かび上がり、我々にその独特な世界観を魅せてくれる。夏祭りの際に芝居絵屏風を飾る習慣は幕末より続く土佐独特の形式であるが、戦後頃から少しずつその数は減り始め、現在では県内 10 か所の神社でのみ行われている。

本学が所在する朝倉では、毎年 7 月 24 日の朝倉神社夏祭りとともに、周辺地区が持ち寄る全 24 点の芝居絵屏風を、6つの絵馬台に飾られた絵馬台の下をくぐりながら楽しむことができる。しかしその一方で、朝倉の隣、鴨部の郡頭神社においては近年縮小開催となっており、他の地域においても規模の縮小や隔年開催となっている場所も多い。

本展覧会では、県内に点在する絵金らの芝居絵屏風と祭礼に関する研究を通して、高知県の文化財保存と修復、そして地域文化の継承の現状をお伝えできればと思う。



▲ 原作品『伽羅先代萩 御殿』（峯八王子宫 蔵）

会期中のイベント情報

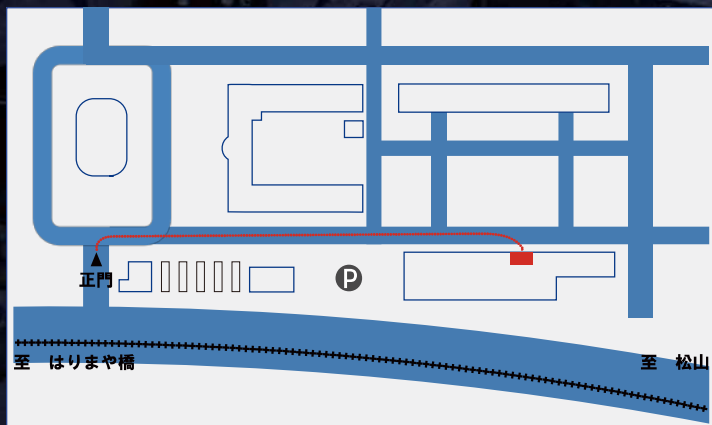
◆ ギャラリートーク

7/12 (土) 午後 1 時～午後 1 時 30 分

7/19 (土) 同上

◆ 復元作品「伽羅先代萩 御殿」

会期中常時展示



会場までのアクセス

高知大学教育学部 3号館 1階 アートギャラリー
〒780-8520 高知市曙町二丁目 5 番 1 号

- 高知自動車道 伊野 IC から、自動車ですぐ 5 分
- JR 朝倉駅下車、徒歩ですぐ 5 分
- 土佐電鉄（路面電車）朝倉停留所下車すぐ